

水戸市農業委員会だより

令和4年4月発行

第195号

発行所

水戸市農業委員会事務局

水戸市中央1丁目4番1号

☎224-1111(内線 6422)

年4回発行



アグリメイトいきいき農業体験事業の パネル展示が行われました

令和4年2月18日(金)から25日(金)にかけて、水戸市役所1階多目的スペースにて、アグリメイトいきいき農業体験事業のパネル展示が行われました。

これは、子ども達が農業体験を通じて生きる力を育み、農業への理解を深めることなどを目的に、水戸市農業委員会等が実施している「水戸市アグリメイトいきいき農業体験事業」の事業参加校が、一年間の活動内容を一枚の模造紙にまとめたものを、市民の方々に見て頂けるように展示したものです。

展示された作品は、写真や絵を交えて色鮮やかに作られていたり、育てた農作物についての詳細な情報が記載されていたりするなど、学校ごとに様々な工夫がされており、「どのような農業体験を行ってきたのか」、「農業体験を通じ、何を学ぶことができたのか」が分かりやすくまとめられていました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校が休校になるなど、事業の実施自体が難しい時期もあったにもかかわらず、実施校の先生方のご尽力やインストラクターの方の

ご協力もあり、コロナ禍であっても、子ども達がいきいきと農業と触れ合っている様子が伝わってくるような展示になっていました。

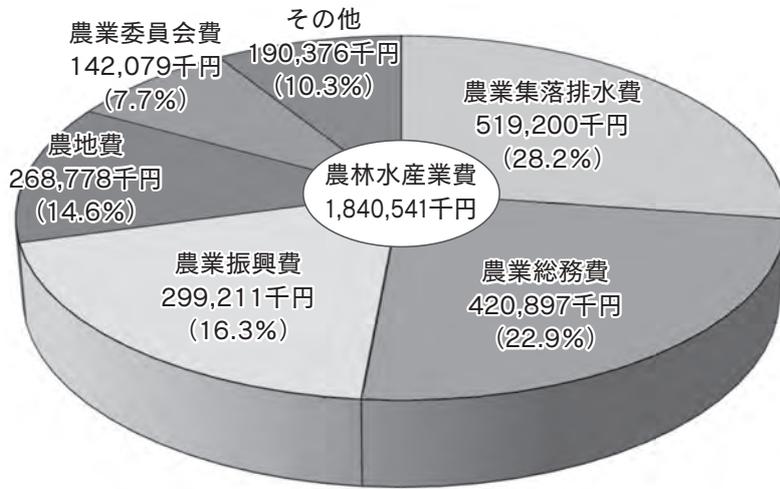
訪れた方からは、大変な中で事業実施を喜ぶ声や、子ども達の頑張りをほめる声などがあがっていました。

令和4年度は市内17校の小・中学校がこの事業に取り組みます。年度末には、今年度同様、実施校のパネル展示を行う予定です。その際にはぜひ展示会場に足をお運びください。

目次

- アグリメイトいきいき農業体験事業のパネル展示が行われました・・・(1頁)
- 令和4年度農林水産業予算の概要・・・(2頁)
- 農業者年金受給権者は現況届を忘れずに提出してください・・・(2頁)
- 水戸市農地賃借料情報・・・(3頁)
- 農業委員会活動報告・・・(3頁)
- 農地情報・・・(3頁)
- 令和4年度農業臨時雇標準賃金・・・(4頁)
- 委員のひとこと・・・(4頁)

令和4年度農林水産業予算の概要



一般会計〔農林水産業の内訳〕

令和4年度当初予算が、3月の定例市議会において議決され、農林水産業費は、18億4054万1千円となりました。

主な事業は経営の効率化や農産物のブランド化等を支援するとともに、新規就農者、後継者の育成・支援のほか、コロナ禍において

主食用米価の下落が続く中、稲作経営体に対し、生産意欲を喚起するための支援に努めてまいります。また、学校給食における地場農産物の活用促進によって地場農産物の消費拡大や農業の振興・地産地消・食育の推進を図るとともに国営緊急農地再編整備事業によ

る農業生産基盤の整備を推進するなど、持続可能な農業の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

農業委員会においては、地域を再生し、日本の農業・農村の持続可能な発展を促すため、市や農地中間管理機構等の関係機関との連携を深め、遊休農地の発生防止や担い手への農地集積・集約化などの農地利用の最適化の推進にさらに努めてまいります。

特別会計の農業集落排水事業予算は、7億8600万円となり、主に処理施設の維持管理を図ってまいります。



農業者年金受給権者は現況届を忘れずに提出してください

農業者年金の受給権者は、毎年現況届を提出することになっています。

これは受給権の確認を行うもので、期日までに提出しないと年金の差止めもありますので必ずご提出ください。

なお、現況届の用紙は、5月末に農業者年金基金から送付され、提出用の返信用封筒は、農業委員会事務局から別便で同じく5月末に送付します。必ず確認をお願いします。

【提出期間】
6月1日(水)～30日(木)

【提出先】
農業委員会事務局

【記載内容】
氏名、生年月日、住所、電話番号

《お問合せ先》

農業委員会事務局農政係
☎224・1111
内線6432

国が支える。安心が大きくなる

担い手 積立年金 [愛称]

農業者年金



水戸市農地賃借料情報 (令和3年1月～令和3年12月)

農地法第52条「情報の提供等」に基づき、農業委員会では、地域における賃借料の目安となるよう実勢の「農地賃借料情報」を提供しています。

令和3年1月から令和3年12月までに農地法及び利用権の設定により締結された賃貸借の賃借料水準(10アール当たり)は、下表のとおりです。

田(水稲)の部 (10アール当たりの年額)

地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数	備考
旧水戸	12,900	28,000	3,000	322	使用貸借(無償)のデータは703件
旧常澄	14,600	23,600	3,800	161	使用貸借(無償)のデータは114件
旧内原	11,200	20,000	3,000	204	使用貸借(無償)のデータは73件
市平均	12,800			687	

畑の部 (10アール当たりの年額)

地域名	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)	データ数	備考
旧水戸	8,600	20,000	3,000	111	使用貸借(無償)のデータは184件
旧常澄	14,800	15,000	14,600	2	使用貸借(無償)のデータは44件
旧内原	8,800	17,500	3,100	26	使用貸借(無償)のデータは94件
市平均	8,700			139	

- 1 最高額、最低額は貸し借りがあった最高・最低の賃借料であり、従来の標準小作料の農地区分の上、中、下の賃借額ではありません。
- 2 賃借料水準の算出にあたっては、賃借料(有償)のデータのみを収集の対象としており、使用貸借(無償)のデータは含まれていません。ただし、参考として、各地域における使用貸借(無償)のデータ数を備考欄に表示しました。
- 3 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としています。
- 4 賃借料は目安であり、地域の特性等を十分考慮し、当事者間で協議のうえ決定してください。

農業委員会
活動報告
 1月～3月

1月
 6日(木) 第18回運営委員会
 13日(木) 第19回総会
 農地利用最適化推進協議会
 西部・中部・東部地区連絡会
2月
 14日(月) 第20回総会
 農地利用最適化推進協議会
3月
 4日(金) 第20回運営委員会
 11日(金) 第21回総会
 農地利用最適化推進協議会
 西部・中部・東部地区連絡会



農地情報				
大字	字	台帳地目	面積(a)	希望
河和田町	水窪	畑	62	貸
鯉淵町	一ノ割	畑	30	貸/売
鯉淵町	七ノ割	畑	38	貸

※価格・賃料は応相談
 農業委員会事務局農政係 (☎224-1111 内線6412)

令和4年度農業臨時雇標準賃金

当委員会では、農作業賃金等の適正化を図るため、前年度の本市農業臨時雇標準賃金及び隣接市町の農作業賃金を参考にして、令和4年度の農業臨時雇標準賃金を下表のとおり設定しましたのでお知らせいたします。

	区分		水戸市標準賃金			
	項目		標準額(円)	単位	作業条件	
田	育 苗	芽 出 苗	610	1箱	種子代含む	
		硬 化 苗	820	1箱	〃	
	耕 起		6,600	10a		
	くろかけ	畦塗り機	80	1m	片面	
	代 か き		9,800	10a		
	田 植	田 植 機	8,100	10a		
	収 穫	コンバイン		22,000	10a	刈り取りのみ
				35,100	10a	乾燥、運搬含む
		バインダー	9,300	10a	ひも代含む	
		ハーベスター	9,900	10a		
も み 乾 燥		11,000	10a			
も み す り		660	60kg			
畑	耕 起		6,600	10a		
	麦 刈 り	コンバイン	24,300	10a	運搬含む	
	麦	乾 燥	1,500	50kg	水分18%以下 1%増えるごとに+50円	
	ごぼう掘り	トレンチャー	88,000	10a	人夫賃含む	
	管 理 収 穫	つ る 刈 り		5,500	10a	
		マルチ張り		5,500	10a	
掘 取 り			5,500	10a		
草 刈 り (田 畑)		11,000	10a	機械 (フレールモア等)		
農 作 業 一 般		1,000	1時間			

この額は標準額ですので、契約するときは圃場条件や作業の難易度等を考慮し、両者の話し合いにより決定してください。

また、この標準賃金は消費税10%を含んでおります。(農作業一般には、消費税は含まれません。)

委員のひとこと

農林水産省直轄事業による茨城中部地区国営緊急農地再編整備事業に、千波湖土地改良区の受益地の内、私が属する小泉地区を含む5団地が参加することになりました。

同時期に、農業をリタイアする農業者に対し、経営転換協力が支給されるということも分り、小泉地区はその制度も活用して事業を推進しようとしたところ、屋敷合いを進めていたところ、周りの農地に建築物があったり、ビニールハウス内が雑木等で荒れているなど、色々な問題点が浮き彫りになりました。

何か問題が見つかる度に、解決のために農業委員会に相談に行つて色々教えていただき、リタイアする農業者の方をまとめていった結果、地域の担い手を増やして農地集積を進めることができました。

そういった経験を活かして、地域農業への貢献をしたいと思ひ、農地利用最適化推進委員となつて、現在2期目となります。今後も事業を通じて、担い手への農地集積・集約化の推進に努めてまいりたいと思ひます。

(推進委員 飛田 克己)